

市 議 会

2024年度仙台市議会第1回定例会 傍聴のご案内

2月9日(金)より仙台市議会第1回定例会が3月14日(木)までの会期で始まりしました。新年度予算をはじめ私たちの暮らしに関わる大事な議案が提案されています。日本共産党仙台市議団も予算等審査特別委員会を含め、6人全員で質問に立ちます。ぜひ傍聴にお越しください。

2/19(月)
午後1時から

花木則彰
議員

代表質疑 「街の主役は人」の公約を守り、 市民・住民を大切にする市政に

- 学校給食無償化、子どもの医療費助成の拡充を
- 介護の充実へ、国の負担割合を増やせ
- 宿泊税に頼らない観光振興の充実を
- 公立保育所の廃止計画ストップ、改修・改築を
- 給付型奨学金制度の創設
- 市独自の思い切った物価高騰対策を
- 市の財政力の実態を市民に正確に伝えよ
- 敬老乗車証の利用者負担2.5倍化は取り下げよ
- 女川原発の再稼働に反対の表明を
- 4病院問題、白紙撤回を知事に迫れ

2/20(火)
午後2時30分ころ

吉田ごう 議員

一般質問 子どもたちを主役に保育者と保護者が 安心できる保育施策の充実を

- 長引く物価高騰に苦しむ保育現場の声を受けさらなる支援策を
- 公立保育所の民営化はやめ、地域拠点保育所の維持発展を
- 市独自の保育士配置基準と処遇の改善を
- 会計年度任用職員ではなく正職員採用増に踏み出せ
- 新たな特別支援保育の実践は保育現場の声に基づき進めるべき
- 第2子の保育料の完全無料化

2/21(水)
午後2時30分すぎ

高見のり子 議員

一般質問 市民の命を守る防災対策

- 能登半島地震を踏まえた地域防災計画の見直し
- 被災者中心の災害救助法、生活再建支援法の拡充を
- 災害ケースマネジメントの重要性とアクションプラン策定
- ガスを活用した災害時の電源確保策
- マンホールトイレの普及 ○身近な避難所の増設
- 「戸建て木造住宅の耐震化」の拡充と耐震診断の拡大
- ブロック塀補助制度の拡充



インターネット議会中継
代表質疑、一般質問は
仙台市議会ホームページで視聴できます。
左記QRコードからご覧ください。

このほかの日程

- 2月26日(月) 常任委員会
- 2月27日(火)～3月12日(火) 予算等審査特別委員会
※2日・3日・9日・10日・11日は休会
- 3月14日(木) 本会議(最終日)

市民と力を合わせて 暮らしの願いが前進

〇市立学校の特別教室と体育館にエアコン設置 (6億1,768万円)

小・中・高の市立学校の特別教室は増改築や大規模改修の際に、体育館は増改築の際にエアコンを設置するとともに、当面増改築等の予定のない学校にはルームエアコンや冷風機の設置を3か年計画で進める。

〇児童館の遊戯室にもエアコン設置へ (8,685万円)

暑さ対策として、2026年度まで計画的に遊戯室へのエアコン設置を行うとともに、設置までの間、リース機器等による緊急対応を行う。

〇子ども食堂の助成金は現状のまま継続へ

新年度から「月2回以上」の開催としていた助成要件を、新年度以降も「月1回以上」の開催で助成対象とする。

〇男性育休取得奨励金 (1,162万円)

男性の育児休業取得を促進するため、男性従業員が一定期間以上の育児休業を取得した企業へ奨励金を交付する。

〇新たな学生フリーパス制度 (4億7,724万円)

学生向けの移動支援を行うとともに公共交通の利用促進を図るため、新たに「せんだいバス FREE+ (フリープラス)」(宮城交通の仙台市内にかかわる路線と、市バス全路線が乗り放題、一か月8,000円)を10月から実施する。

〇妊婦健康診査費用助成の額の引き上げと助成回数の拡充(6,180万円)

〇不妊検査・不妊治療助成(1億2,411万円) 〇公立保育所の特別支援保育環境整備(549万円)

〇(仮称)ダイバーシティ推進会議の設置やダイバーシティ推進課新設

〇家賃や引っ越し費用等の補助を行う結婚新生活支援(7,707万円)

〇在籍学級外教室「ステーション」の小学校10校に新設・中学校10校増設し35校に拡充(2億4,416万円) など。

許せません!
大幅値上げ!



敬老乗車証の利用者負担を 2.5倍に引き上げる条例改正を提案

パブリックコメントには若い世代も含め、666件もの意見が寄せられました。結果は右の表の通り、市民の意見は二分しています。

ところが市は、パブリックコメントや市民説明会を実施した結果、見直しについて一定の理解が得られたとして、中間案通り2.5倍の負担増とする条例改正と今年10月からの実施を押し通そうとしています。

市民からは「値上げしないで」「拙速に決めないで」と、署名と要望が市に出されています。議会論戦に全力を挙げてまいります。

敬老乗車証制度見直し中間案に対するパブリックコメント集計結果

※全回答666件の割合

